

Creation of  
New Azumino  
Water  
Project

安曇野創出プロジェクト 提案(概要)

# 安曇野水物語

Azumino Water Story 2009/11/24

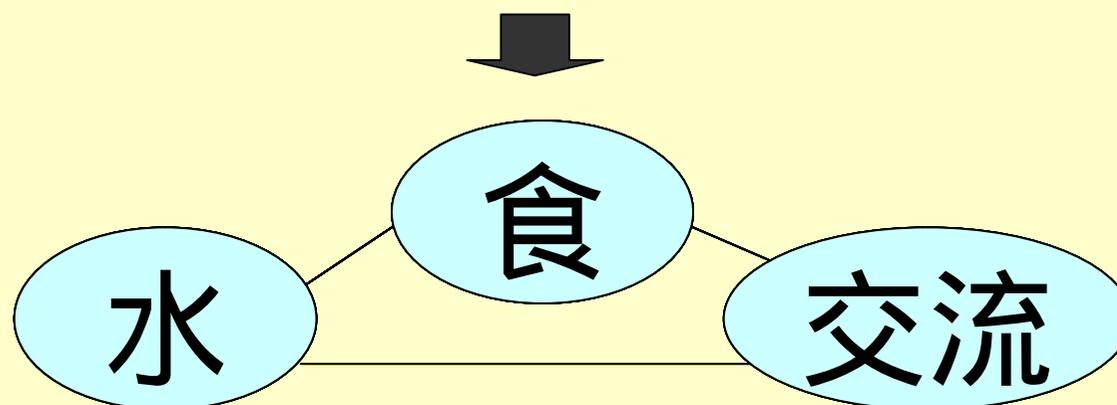
# 安曇野創出プロジェクトとは

- 第1次安曇野市総合計画の基本計画

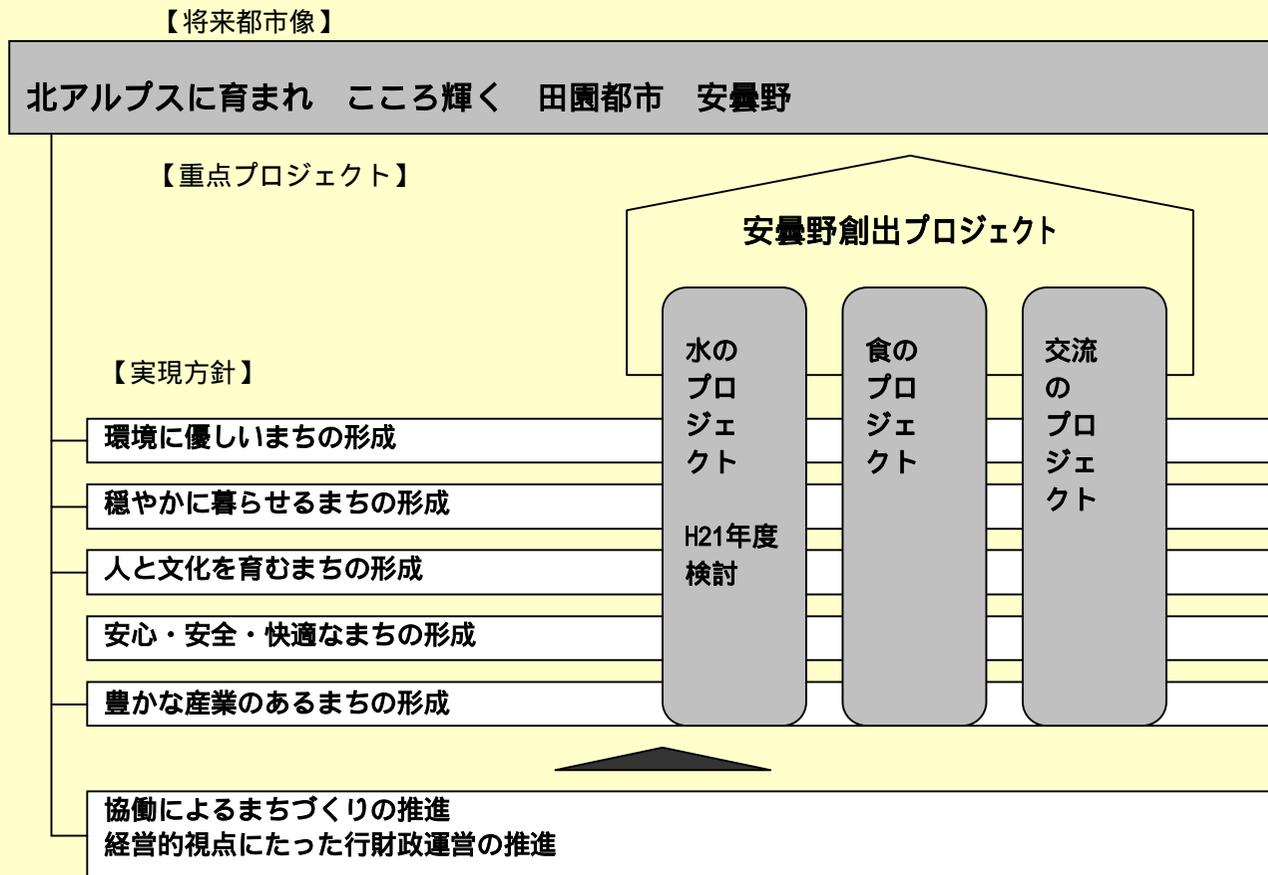
## 将来都市像

「北アルプスに育まれ 心輝く 田園都市  
安曇野」の実現

施策分野にとらわれず、市政全般にわたって  
長期的な視点から取り組む3つのテーマ



# 新たな安曇野創出「重点プロジェクト」



# 【重点プロジェクトの基本目標・年次】

## 【基本目標】

- 安曇野の自然環境と産業・文化を守り育むこと
- 安曇野らしい田園風景と暮らしを守り育むこと

## 【計画の年次】

- 総合計画の「基本計画」の計画期間は平成20年度から24年度まで



# 新たな安曇野創出プロジェクトチーム

- 主任・主査クラスの職員で構成するプロジェクトチームを編成

- 「水」のプロジェクトについて、7回の会議と視察研修を開催

会議開催状況及び委員名簿

資料13～14ページ参照



## ワークショップ(堀金総合支所)





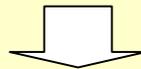


# 提案にあたり・・・プロジェクトのテーマ

豊かな水資源により育まれた景観・文化・歴史  
(拾ヶ堰など堰の開削やワサビ田の開拓、ニジマス養殖等)



安曇野水物語  
“ 物語性のある施策展開 ”



## ■ テーマ

水で結ばれ、水と共に生きる安曇野  
～ 水はみんなの宝物 ～

# プロジェクトの4つの目標

- I. 水を守り、すべての生命を守り育む安曇野
- II. 水の恵みを生かし、人が水辺に憩い集う安曇野
- III. 水環境を学び、文化や歴史、水の恵みを明日につなぐ安曇野
- IV. “水との共生” を情報発信する安曇野



# 事業メニューの提案にあたり

- 拾ヶ堰の開削やワサビ田の開拓など先人たちが育んできた文化、歴史を踏まえ、水の大切さを再認識する
- “みんなの宝物”である豊かな水資源をどう守り、どう生かしていくのか、分野の枠を超え、全庁的、総合的に“関連性、物語性のある施策”(安曇野水物語)展開を目指す

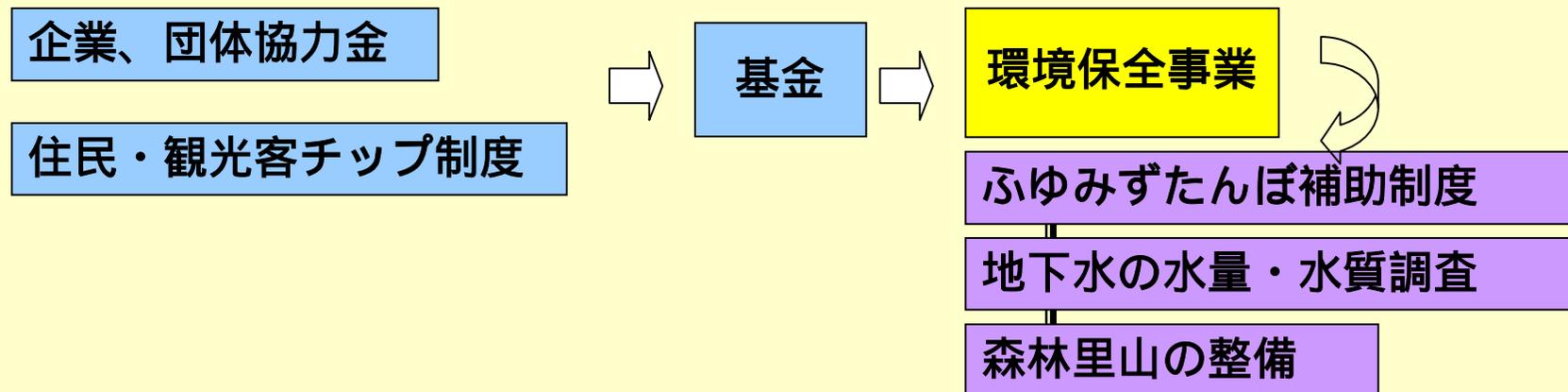


# 水を守り、すべての生命を守り育む安曇野

## ● 環境循環型システムの推進

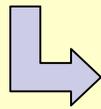
### 1 水環境協力金制度導入の検討

#### 水環境協力金制度のイメージ



# 水を守り、すべての生命を守り育む安曇野

## ● 環境循環型システムの推進



地下水の涵養

### 2 “ふゆみずたんぼ”補助制度など環境循環型モデル地区の設定

企業排水等を利用した“ふゆみずたんぼ”の実施  
ゾーニングによる透水性アスファルト材等の活用など

### 3 森林、里山の整備

間伐や植樹など健全な森林を育成する。

市民参加の森づくり

森林、里山について学ぶ機会を設ける。

水のマイスター登録制度との連携

# 水を守り、すべての生命を守り育む安曇野

## ● 地下水保全の制度化及び地下水調査の実施

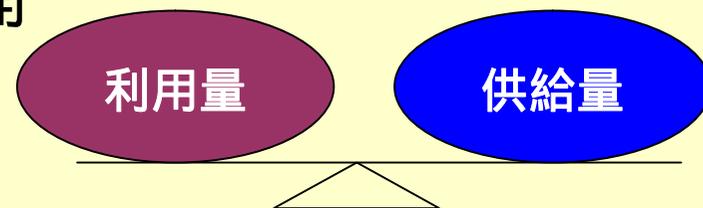
### 1 地下水利用に関する条例制定等

地下水の保全計画の策定 地下水の利用や水質保全に関する条例・規則を制定

↳ 広域間の連携

### 2 地下水調査の実施

経済面と環境面の両面から水収支調査など各種水質・水量調査の実施 データの公開



# 水の恵みを生かし、水辺に憩い集う安曇野

## ● 親水空間の整備及び水辺を生かした滞在型観光の確立

### 1 (仮称) 安曇野水物語体感ツアー

安曇野を体感できるスポットをつなぎ合わせ、回遊性のあるコースを設定し、観光客を誘導する



ラフティング、カヌーなどの活用と拠点整備  
年度ごと重点的に親水空間を整備

(道路、遊歩道、サイクリングロード、公園、水路、堰等)

観光客移動のための公共交通体系の整備

(コミュニティサイクル、JR、周遊バス、タクシーなど)

□ イメージ図（水のスポットを結ぶ、安曇野水物語体感ツアー）



# 水の恵みを生かし、水辺に憩い集う安曇野

- 親水空間の整備及び水辺を生かした滞在型観光の確立

## 2 水にかかわる食のブランド化

安曇野のイメージアップ

ブランド米の推進

ワサビ、ニジマス(信州サーモン)などブランド化の推進



## 3 イベントの展開

「お水とり、お水がえし」「お船祭り」

「あやめまつり」など水にかかわるイベント

水を大切にし、**伝統文化を継承する安曇野をPR**

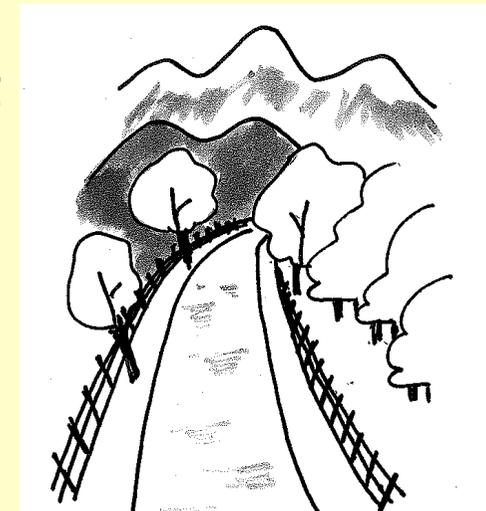


# 水環境を学び、歴史や水の恵みを明日に語り継ぐ安曇野

- 1 安曇野水物語(文化・歴史)の継承  
「拾ヶ堰の開削」「ワサビ田の開拓」  
「ニジマス養殖発祥」「お船祭りのルーツ」等  
後世に伝えるべき安曇野の文化・歴史

安曇野水物語

民話化



- 2 環境学習事業の推進  
自然教室など水環境体験学習プログラムの実践  
世代別プログラムの設定、実践団体の表彰、  
ビオトープの情報提供 水のマイスターとの連携

# “水との共生”を市内外に情報発信する安曇野

## ● 水のトータルコーディネート事業の展開



### 1 水マップ、ホームページなどの作成

ガイドブックやマップ、まめ本、映像フィルム作成

ホームページでの情報提供

(水質データ、水辺ライブカメラ、民話紹介、  
水イベント、ガイドブック、マップ等)

### 2 水のマイスター(環境ボランティア)登録制度の創設

各分野に精通する人材(自然インストラクター等)を

登録 異業種・異分野の交流促進

(自然教室の講師など環境学習事業との連携)

“水との共生”を市内外に情報発信する安曇野

● 水のトータルコーディネート事業の展開



3 「安曇野水物語」CI事業の展開及び水のプロジェクト  
認定制度の創設

安曇野創出プロジェクト(水環境協力金制度)にかかわる  
ロゴマーク、シンボルカラー等を設定

PR用オフィシャルウォーター の制作

プロジェクトにかかわる各事業

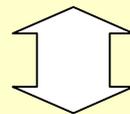
“安曇野水のプロジェクト認定”

## 水のプロジェクト(AWSプロジェクト)事業推進体制・計画

- 行政経営会議

任務:プロジェクトの協議、施策の決定

構成:市長、副市長、教育長、会計管理者、各部長、各総合支所長



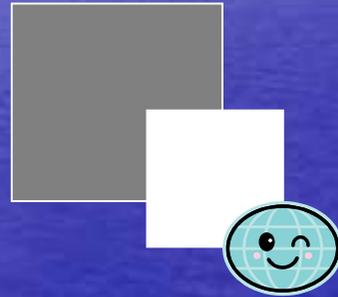
- 新たな安曇野創出プロジェクトチーム

任務:安曇野らしさを創造・発信するため、所管の枠を超えて事業を検証し、関係課との連携により、効率的・効果的な事業展開を図る。

- 関係各課、ワーキングチーム

任務:企画、検討された事業について、市民とともに取り組み、推進する。

事業推進計画については、提案書11ページと12ページ参照



安曇野創出プロジェクトチーム  
企画財政部企画政策課